

# よっ葉だより

2023年  
4月10日号  
No.739

◆新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金◆



栃木県 860  
茨城県 862



## JAやさと有機栽培部会 日本農業賞 『大賞』

未来につながる持続可能な農業推進

## くらぶち草の会 コンクール 『農水大臣賞』

## グリーンリーフ 「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞 『特別賞』

よっ葉の生産者が  
受賞しました！

日本農業賞は、NHKとJA全中、JA都道府県中央会が主催して、日本農業の確立をめざし、意欲的に経営や技術の改革にとりくみ、地域社会の発展にも貢献している農業者と営農集団を表彰しています。

(JAグループHPより。)今年1月31日に、「第52回日本農業賞」は発表され、集団組織の部でJAやさと有機栽培部会(茨城県石岡市)が最高位の大賞に輝きました。

JAやさと有機栽培部会は、1997年の有機栽培部会設立以降、有機農家育成の研修制度を設け、部会のメンバー皆で有機栽培技術を向上させながらこれまでに30世帯の就農者を育成してきました。その実績や、私たちよっ葉生協も農業体験でも大変お世話になっていますが、多くの消費者・子どもたちへの農業体験の機会の提供や子ども食堂や学校給食への有機農産物の提供などの食育活動が高く評価されました。表彰式は3月4日に行われました。



### 「未来につながる持続可能な農業推進コンクール」は農林水産省が「みどりの食料システム戦略」の一環として、持続可能な農業の確立を目指し意欲的に経営や技術の改善等に取り組んでいる農業者等を表彰するものです。令和4年度の実績が今年2月に発表され、くらぶち草の会(群馬県高崎市)が有機農業・環境保全型農業部門で農林水産大臣賞に輝きました。

くらぶち草の会は1988年に3戸の農家が設立し農薬と化学肥料を使わない栽培に取り組んできました。土づくりを栽培の基本とし、家畜糞尿など地域資源の堆肥化に取り組んだり、全会員が参加する年間15回の研修会を実施し、地域全体で安定した生産を実現してきました。2003年には市の助成を受けて滞在型研修施設を整備し、県内外からの就農希望者の受け入れ・育成にも取り組み、現在は44人(半数以上が新規就農・地区外からの移住定住者)で72ヘクタールを営農しています。表彰式は3月6日に行われました。

くらぶち草の会は1988年に3戸の農家が設立し農薬と化学肥料を使わない栽培に取り組んできました。土づくりを栽培の基本とし、家畜糞尿など地域資源の堆肥化に取り組んだり、全会員が参加する年間15回の研修会を実施し、地域全体で安定した生産を実現してきました。2003年には市の助成を受けて滞在型研修施設を整備し、県内外からの就農希望者の受け入れ・育成にも取り組み、現在は44人(半数以上が新規就農・地区外からの移住定住者)で72ヘクタールを営農しています。表彰式は3月6日に行われました。

### 「日本でいちばん大切にしたい会社」大賞は、

従業員や地域社会など、人を大切にしたい経営を続ける事業者を表彰するものです。3月3日に受賞者が発表され、有機栽培のこんにやくでおなじみのよっ葉の生産者グリーンリーフが審査委員会特別賞を受賞しました。社員と協力業者、技能実習生、顧客との良好な関係やほぼすべての営業日に障害者施設への作業の依頼が行われていることなどが高く評価されました。



# 「いわての学び希望基金」より報告書が届きました

よつ葉生協が東日本大震災以降継続して取り組んでいる震災孤児を支援する募金[910]は、岩手・宮城・福島の3県にお届けしていますが、このうち岩手県が震災孤児・遺児支援として設立した「いわての学び希望基金」の報告書「活用状況のご報告 令和5年3月」が岩手県知事のお手紙と共に届きました。カラー印刷15ページの報告書には、子どもたちをめぐる復興の状況や、基金の支援を受けて進学し社会人となって東北で活躍している若者たちのインタビュー記事、基金の支援を受けた若者たちの感謝のメッセージ、支援を続けている人たちの応援メッセージ、基金の活用状況などが詳しく掲載されています。感謝のメッセージを1通転載いたします。



社会人1年目

今まで「いわての学び希望基金」に寄附をして下さった皆さん、本当にありがとうございました。  
私は今大学を卒業し、慣れない環境の中 看護師1年目として毎日頑張っています。  
「いわての学び希望基金」と巡り合えたお陰で、大学では何がなんでも人ができ、たくさん思い出を作ることができました。またアルバイトしたり一人暮らしをしたり、様々な経験を積むことができました。これも全て「いわての学び希望基金」のおかげから出来たことであらうと感謝しています。  
コロナ禍で大変な世の中ですが、看護師として職務に従事することが社会貢献につながると感じています。  
寄附してくださった皆さん、恩返しできるように、感謝の気持ちを忘れず、これからも頑張りたいと思います。

突然の災害で被災し、親を亡くし生活の基盤を失うという不運はいつ誰に降りかかるかわかりません。「無償」とされる義務教育期間も給食や教材費、修学旅行などの負担が保護者に求められ、高等教育は学費を納めて受けることになっている日本では、そのような不運に会ってしまった子どもたちの学びの保障は、多くの人たちの善意からの募金が無ければ実現しなかったという現実を突きつけられます。同時に、大勢の人々からの支援を受けて学業を全うした子ども・若者たちの感謝の気持ちの大きさと、「故郷へ貢献したい。恩返しをしたい。」という強い気持ちに胸が熱くなります。

「艱難汝を玉にす」と言う言葉があるように、「震災で親を亡くす」という耐え難い経験を余儀なくされた子どもたちが、適切なケアと温かな支援を受けることで苦難を乗り越え、力強く社会に羽ばたいていくことを、報告書のメッセージが伝えてくれています。今後も応援を続けていきたいと思います。

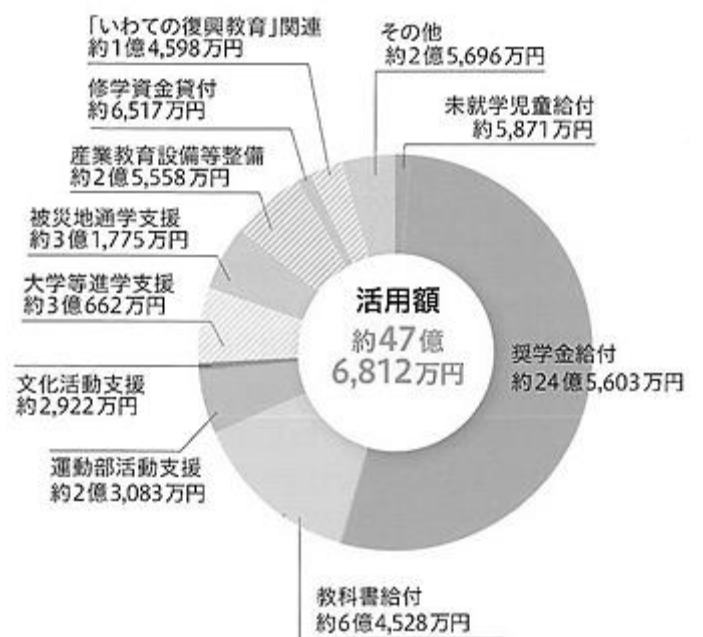
「艱難汝を玉にす」と言う言葉があるように、「震災で親を亡くす」という耐え難い経験を余儀なくされた子どもたちが、適切なケアと温かな支援を受けることで苦難を乗り越え、力強く社会に羽ばたいていくことを、報告書のメッセージが伝えてくれています。今後も応援を続けていきたいと思います。

(理事 堀)

## 「いわての学び希望基金」活用状況 (一部抜粋)

- ◇寄付金の受付状況 件数：27242件 総額：約105億7,106万円
- ◇岩手県の津波震災孤児・遺児の状況 (発災当時18歳未満)
  - 孤児 (両親を失った子ども) 94人
  - 遺児 (父または母を失った子ども) 490人
- ◇令和3年度までの基金活用実績 活用額約47億6,812万円
- ◇社会に巣立つための学費等の支援
  - …被災し親を失った児童・生徒に対し、奨学金等を給付し、暮らしと学びを支援。
- ◇被災児童・生徒の支援
  - ・教科書購入費等給付事業…被災した高校生に対し、入学一時金、教科用図書、修学旅行費の支援
- ◇「いわての復興教育」の推進
- ※詳しくは岩手県のホームページにも掲載されています。[岩手県 学び希望基金](#)で検索してください。

## 令和3年度までの基金活用実績



## 【奨学金等給付対象と給付金額】

給付対象	給付金額	
未就学児童	(H29年度で終了)	
小学生	月額 3万円	
中学生	月額 4万円	
高校生	月額 5万円	
大学生等(自宅)	月額 6万円	
大学生等(自宅外)	月額 10万円	
大学院生等(自宅)	月額 6万円	
大学院生等(自宅外)	月額 10万円	
一時金	小学校入学時	6万円
	小学校卒業時	15万円
	中学校卒業時	25万円
	高等学校卒業時(自宅)	30万円
	高等学校卒業時(自宅外)	60万円

[平成30年4月~]

## 【令和3年度までの奨学金等支給人数】

(単位:延べ人数)

	未就学児	小学生	中学生	高校生	大学生・専門学校生等	大学院生	合計
平成23年度	85	190	137	149	66	0	627
平成24年度	73	172	130	150	75	0	600
平成25年度	59	152	117	149	101	0	578
平成26年度	44	129	107	140	121	0	541
平成27年度	29	114	102	130	133	0	508
平成28年度	19	91	102	115	123	0	450
平成29年度	5	86	84	104	134	0	413
平成30年度	1	75	71	101	110	7	365
令和元年度	0	61	52	102	104	8	327
令和2年度	0	45	47	85	109	5	291
令和3年度	0	30	45	73	96	6	250
合計	315	1,145	994	1,298	1,172	26	4,950

## ■社会に巣立つまでの学費等の支援

東日本大震災津波により被災し、親を失った児童・生徒等に対し、奨学金を給付し、「暮らし」と「学び」の支援を行っています。

## よつ葉の広場～話・輪・WA～@オンライン 開催しました!

3月2日(木)、9名のご参加ありがとうございました。

2022年度は、「よつ葉の広場～話・輪・WA～」の企画を新たにスタートさせ、①茨城県古河市 ②群馬県太田市 ③栃木県宇都宮市で行って来ました。今年度の最終は、離れた場所にも繋がることのできるオンラインでの開催+インスタライブ同時生配信もいたしました。

よつ葉生協が行っている「10の取り組み」について三輪理事長から、そしてよつ葉生協のPBブランド「よつ葉のだしつゆ」や調味料のお話しを、商品部調味料担当・栗原さんからお話しいただきました。その後、質疑応答や参加者同士での交流の時間を持ちました。

### ○「よつ葉のだしつゆ」は何でできている？

原材料は主に、しょうゆ、砂糖、かつお節エキス、みりん、食塩、昆布エキス、純米酢、乾しいたけ、です。添加物、化学調味料は不使用。砂糖は粗製糖を使用し、スツキリとした甘さに。だしは天然素材です。そしてなんととっても一番のこだわりは、しょうゆです。通常、しょうゆの醸造は約1年ほどですが、鎌田さんのしょうゆは1年半～2年とのこと。丁寧に大切に作られていることが伝わってきます。

### ○年に4回、くらはで調味料特集をご案内しています。

①3月…普段使いの調味料をメインに。②6月…さ、し、す、せ、そ。基本・おすすめの調味料。③秋…冬にかけ、リーズナブルな価格でご案内。内容的にも使いやすく。④年末…おせち特集。こだわりの調味料をご案内。



### 交流に参加した皆さまからの発言

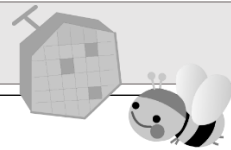
- ・小6の子どもがいます。「フェアトレードって知ってる？」と学校の社会の時間に勉強してきたことを聞かれ、子どもが知っていることを大人も知らない。。と感じています。
- ・うちの子も学校の家庭科で、「まごわやさしい」を知っていますか？という先生の質問に、自分しか答えられなかった、と話していました。
- ・よつ葉生協は、食の視点が原点に立っている数少ない貴重な存在だと思います。
- ・遠かったり、仕事があっても気軽に参加できるオンライン嬉しいです。

オンラインというツールが気軽に使用できるようになり、交流の可能性の幅も広がってきました。今回はご夫婦でのご参加もあり、嬉しい限りです。今後もよつ葉生協が取り組んでいること、私たちにとって大切な食のこと、様々な方法で発信をしていきたいと思っています。

(担当理事 針谷光絵)

## 参加してみませんか

よつ葉のサークルです♪



### 那須

## 第2回「畑の横の和蜂学校」

在来野生の日本蜜蜂の巣箱から実際に採蜜体験をします。

日時 5月18日(木) 13:30～15:30頃

場所 大山田ノンフェール・くらねえ(旧大山田小学校)  
(栃木県那須郡那珂川町大山田下郷955)

参加費 4500円(講習代、資料代、シフォンケーキとハーブティ、日本蜜蜂の日本蜜蜂の蜂蜜お土産、保険料を含みます。)

締切日:5月11日(木) 定員:15名

主催・申込み・問合せ先

ノンフェール事務局 相馬心平 TEL 090-3344-7813  
里山和蜂日和 堀江博子 TEL 090-2316-4241

内容 日本蜜蜂の巣箱から採蜜をしましょう。

\*蜂場で巣箱の巣房を切ります。

\*蜜の入った巣房から垂れ蜜を落とします。

\*待っている間に美味しいシフォンケーキとハーブティをいただきながら日本蜜蜂の付き合い方のお話をしましょう。

\*絶品の日本蜜蜂の垂れ蜜をお持ち帰りいただきます。

<持ち物> 巣箱観察のための面布と帽子・長袖シャツ・ゴム手袋が必要です。各自スリッパをご用意ください。

\*面布…草取り作業時に使う虫よけの黒いネット

※第1回和蜂学校に参加の方の予約を優先させていただきます。

## 文化イベント情報

■各イベントのお問い合わせは、直接主催者または連絡先をお願いいたします。

### ●イベント 五月三日憲法記念集会「落語で憲法」 八法亭みややっこ(飯田美弥子弁護士)

●日時 5月3日(水・祝) 14:00開演(13:30開場)

●場所 とちぎ健康の森(講堂)  
(栃木県宇都宮市駒生町3337-1)

●料金 入場無料

●連絡先 とちぎ市民法律事務所 TEL 028-636-6103(田中)  
栃木革新懇 TEL 090-4423-2202(針川)

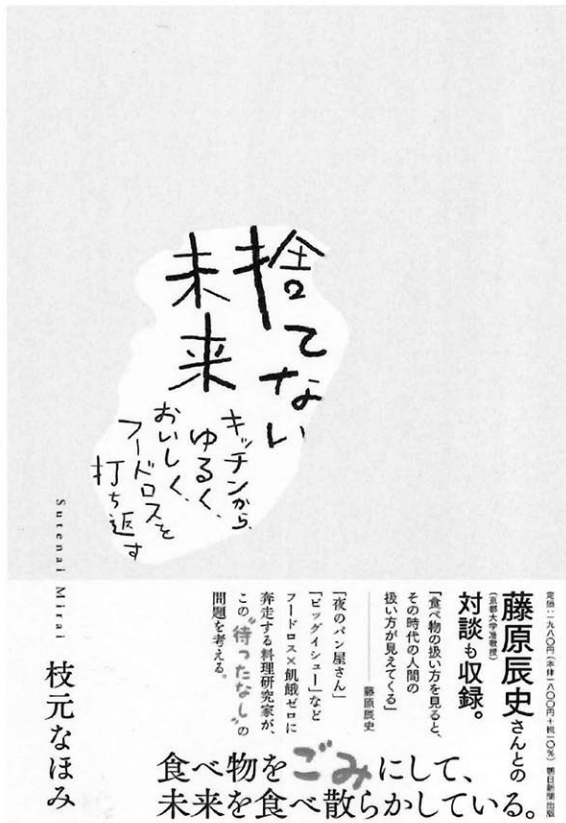
●主催 九条の会・栃木 栃木革新懇

●内容 軍事費倍増! 敵基地攻撃能力の保有! 今、戦争の足音が聞こえます。戦争は、基本的人権を踏みにじります。特に女性や子供が犠牲になります。平和主義を宣言し、基本的人権を守る日本国憲法の素晴らしさを楽しく学び、再発見できます。ぜひ多くの方のご参加を!

よつ葉文庫

新刊登録 No.1295 捨てない未来 キッチンから、ゆるく、おいしく、フードロスを打ち返す

枝元なほみ 著 朝日新聞出版 2022年10月



枝元さんの笑顔は回りをほっとさせ、いつの間にか元気になる力があります。コロナ禍でいろいろな行事が中止になっています。上三川町役場広場で毎年秋に、有機農業を進める人たちで栃木有機フェアを開催していましたが、料理講師として枝元さんに来ていただき、民間稲作研究所の田畑にも立ち寄っていただいていた。

枝元さんは、フードロスを打ち返す活動を明るく進めています。「私たち大人が今の社会を作ってきたのだから、私たちが絶望していちゃダメですもんね。未来を投げ捨てるようなこと、しちゃダメですよ。子どもたちの未来に希望を手渡せるように、明るく前向きな気持ちで進みたいです。」

食と農の歴史を中心に研究している藤原辰史さんとの対談は、食の裏に密接に結びついている戦争の実態が浮き彫りにされています。日頃、料理研究家として野菜の切れ端や大物野菜を全て食べ尽くすレシピを写真付きで紹介しています。忙しい人ほど人の為に働いていると言われる代表選手のような方です。ファンが何故多いのか納得する凝縮された一冊です。(会長 富居)

組合員さんの声

「持続可能な日本型畜産」の説明はよくわかりました。素晴らしい取り組みだと思います。生産者も消費者も頑張りますよ！日本中に普及するといいですね。(足利地区 H・Bさん)

くらら 2月4週表紙『やまと豚米らぶ』で持続可能な畜産へのご感想です。

「よつ葉だより」に掲載の声を聞いて今まで保冷剤の穴を気にしたことがありませんでした。今回見て「なるほど」と反省し、綿棒でくりくりしたらとてもキレイになりました。気付かせていただきありがとうございます。(下野地区 K・Nさん)

こちらこそありがとうございます！

よつ葉だよりに掲載されている「手作りベーコン」をぜひ作ってみたいです。シナモン等スパイスの取扱いも行ってくれるとありがたいです。他のレシピでもたまにスパイスの使用がある時も同じように感じていました。他店のスパイスの取扱いは場所もよくわかりませんし、こちらだと安心できます。(足利地区 Y・Mさん)

NO.733

スパイス類は「くらら」の調味料ページで不定期でご案内していますのでご利用ください。理事長 三輪

ご意見・ご感想をお寄せください。お名前と組合員番号をご記入の上、共同購入注文書またはお手紙をお願いします。掲載の方には粗品をプレゼントいたします。※掲載するにあたって事前ご連絡をすることはありませんので、ご了承ください。

新型コロナウイルス感染症対策たすけあい募金報告 (3月5週分)

ご協力ありがとうございます。組合員さんの助けあいの気持ちが広がっています (単位:円)

栃木コロナ支えあい基金 (860番)	3,800
茨城誰かのために募金 (862番)	2,200
合計	6,000

共同購入注文書の該当番号に数量をご記入ください。WEB注文の場合は、左側【企画商品・募金】内の【募金関連】をクリック。一口100円の募金になります。

東日本大震災・東電原発事故での支援金 募金報告 (3月5週分)

ご協力ありがとうございます。組合員さんの温かいお気持ちが今週も寄せられています (単位:円)

放射能から子どもを守る募金 (900番)	10,500
震災孤児を支援する募金 (910番)	24,600
「有機農業と国産種子」募金 (920番)	9,900
合計	45,000

共同購入注文書裏の「10品以上の記入欄」に該当番号と数量をご記入ください。WEB注文の場合は、左側【企画商品・募金】内の【募金関連】をクリック。一口100円の募金になります。

●編集・発行よつ葉生活協同組合 小山市栗宮1223  
☎0120-07-1613 TEL 0285-45-9100 FAX 0285-45-9101

HP <https://yotsubacoop.jp/> メールアドレスが変わりました。

よつ葉だよりメールアドレス yotsubadayori@yotsuba-coop.jp



ホームページ



Facebook



Instagram